

2(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

1. 尾形尚子奨学基金により、学部学生の海外留学支援（フィンランド、韓国への留学）を行った。
2. ロンドン大学教員による授業（比較教育論）を、前年の連続講義方式を改め、毎週2～3時限を設定し、約2ヶ月間定期的実施し、その間ホームワークを課すなど充実を図った。
3. 学部1, 2年次生を対象とした「クラス・アドバイザー制度」を導入し、教育指導の充実を図った。
4. 大学院教育支援改革プログラムにより、
 - ① 海外インターンシップの実施：台湾、モンゴル、ニュージーランド、シンガポール（授業改善、学校経営、生徒指導等について学んだ）
 - ② 大学院生のプロジェクト型共同研究11件を採択し、リサーチアドバイザーの指導で遂行した。
5. 大学院教育のAdvanced Placement制度を整備した。

特筆すべき研究活動

1. 大学院GPによる、学際的プロジェクト型共同研究3件を実施した。
2. 教育ネットワークセンター支援の先端的プロジェクト型研究を4件実施した。
3. 国際シンポジウムの開催：「学力向上を目指すアジアの高校教育」（H19.12.15）、「21世紀アジアの教育改革」（H20.1.6～7）を、大学院教育改革支援プログラムの一環として実施した。

特筆すべき社会貢献活動等

1. 高校との連携事業
県内4高校（第二女子高等学校、宮城野高等学校、仙台高等学校、女川高等学校）に対して教育研究連携校を委嘱した。
2. 宮城県及び仙台市教育委員会と協定を結び、他学部の学生も含めた「学校ボランティア」を組織し、各小中高等学校に派遣した。
3. 東北六県及び新潟県の幼小中高教員を対象とする「教育指導者講座」を実施した。
4. 宮城県・山形県・福島県を対象とした「社会教育主事講習会」を実施した。
5. 東北大学創立百周年記念事業の共催事業として、「教育、教育行政に夢を求めて」（H19年12月9日）磯田文雄文部科学省私学部長による講演会を行った。